(4)

□富士岡□

303×(85)×8　061

出土地不明

(5)

□

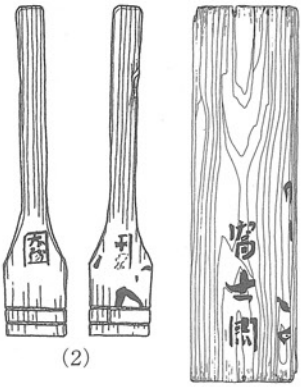
140×55×7　061

(1)は、曲物容器の底板に三文字の墨書が認められる。(2)は、刷毛の両面に小さな墨書が見られる。表面は、文字を方形の墨線で囲む。(3)は、上下両端が欠損している。(4)は、箱状組物の板材であり、右辺を欠損している。(5)は、箆状に整形されているが、釘孔が見られることから箱状組物から転用した可能性がある。

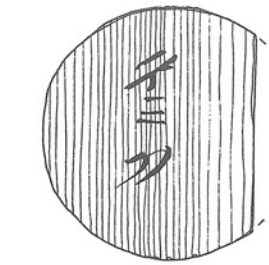
9　関係文献

秋田県教育委員会『久保田城跡・藩校明徳館跡』(二〇〇六年)

(高橋　学〈秋田県払田柵跡調査事務所〉)



(4)



(1)

(2)

木簡研究第二七号

巻頭言―書くことと削ること―　籾山　明

二〇〇四年出土の木簡

概要　平城宮跡　平城京跡左京三条二坊一坪　平城京跡左京三条五坊
十坪　東大寺旧境内　西大寺旧境内　旧大乗院庭園　下永東方遺跡
藤原宮跡　藤原京跡右京十一条四坊　四条遺跡　石神遺跡　飛鳥京跡
平安京跡右京六条三坊六町　宇治市街遺跡　内里八丁遺跡　禁野本町
遺跡　嶋上郡衙跡　北花田口遺跡　川除・藤ノ木遺跡　板井寺ヶ谷遺
跡　稲富遺跡　嫁ヶ渕遺跡　苅安賀遺跡　下津北山遺跡　清洲城下町
遺跡　大蒲村東Ⅰ遺跡　土橋遺跡　上窪遺跡　北条時房・顕時邸跡
下馬周辺遺跡（鎌倉女学院地点）　永福寺跡　水戸藩徳川家小石川屋
敷跡・駿河小島藩松平家屋敷跡・播磨安志藩小笠原家屋敷跡（春日町
遺跡第Ⅲ・Ⅳ地点）　水野原遺跡（新宿区No.一一〇遺跡）　天龍寺遺
跡　葛西城址(1)　葛西城址(2)　小針北遺跡　長須賀条里制遺跡　市原
条里制遺跡（実信地区）　北下遺跡（一）　西根遺跡　関津遺跡　北萱
遺跡　加茂遺跡　慈恩寺遺跡　鷺山蟬遺跡　松本城下町跡伊勢町　樺
崎寺跡　泉廃寺跡（陸奥国行方郡衙）　若林城跡　市川橋遺跡　一本
柳遺跡　柳之御所跡(1)　柳之御所跡(2)　花立Ⅱ遺跡　渋江遺跡　手蔵
田一〇遺跡　鶴ヶ岡城跡　厨川谷地遺跡　東根小屋町遺跡　脇本城跡
高間（一）遺跡　本町一丁目遺跡　森本C遺跡　梅原胡摩堂遺跡　小出
城跡　弓庄城跡　三角田遺跡　松葉遺跡　上田遺跡　南魚沼市余川地
内試掘調査地点　築地館東遺跡　西川内北遺跡　中野清水遺跡　草戸
千軒町遺跡　城仏土居屋敷跡　高松城跡（松平大膳家上屋敷跡）　徳
島城下町遺跡（中徳島町一丁目地点）　常三島遺跡　新蔵遺跡　博多
遺跡群　本堂遺跡

一九七七年以前出土の木簡（二七）

平城宮跡

釈文の訂正と追加（八）

堅田B遺跡（第二〇・二一・二二号）　徳島城下町跡（第二三号）

シンポジウム「中国簡牘研究の現状」の記録　廣瀬薫雄

荊州地区出土戦国楚簡

江陵張家山二四七号墓出土竹簡―とくに「二年律令」に関して―　冨谷　至

史料群としての長沙呉簡・試論　關尾史郎

「中国簡牘研究の現状」シンポジウム私見　籾山　明

新刊紹介　冨谷至著『木簡・竹簡の語る中国古代―書記の文化史』　渡辺晃宏

頒価　五〇〇〇円　送料六〇〇円